ホテル明幸

Hotel Meiko
（長野県山ノ内町）

今回、取材班は、あるスキー大会に出場するためによませ温泉スキー場のホテル明幸にやってきた。この大会には 2012 年に初めて出場して以来、何度もお世話になっている。ほぼ毎年会場が変わるが、今回会場となったのがよませ温泉スキー場である。

大会前までは雪不足で開催が危ぶまれたが（積雪が 30cm まで減っていた）、神の恵みか大会の数日前に雪が降り（積雪が 50cm まで回復）、何とか大会が開催できたのである。暖冬は本当にスキーヤー泣かせ、スキー場泣かせだ。

それではホテル明幸の風呂を紹介していこう。風呂は 4 階、つまり最上階にある。ホテル明幸の建物は一体となった 2 棟から構成されるが、そのうちの上記写真手前側の棟である。写真にはちょうど露天風呂の部分の目隠しが移っている。

風呂の手前には広いスペースがあり、飲料の自動販売機数台、無料で使える貴重品ロッカー22 個がある。風呂上がりの休憩場所、待ち合わせ場所として使えそうだが、椅子があまりない。

脱衣室は数段階段を上がった場所にある。脱衣室には洗面台が 2 個、無料で使えるドライヤーが 2 個、脱いだものを入れる棚が 51 個ある。この棚 1 個分は、荷物が多いとちょっと小さい。その他、脱衣室には有料だが洗濯機と乾燥機がある。

浴室には洗い場 12 箇所、浴槽 1 個があり、シンプルである。洗い場にはリンスインシャンプー、ボディーソープが具備されている。

ところで、この取材記録の読者は、髪と体とどちらを先に洗うのであろうか。別にこうしなければなら

ないというルールはないと思うが、掃除は上部、上流からするのが原則であることを考慮すれば、やはり髪が先だという理屈は通ると思う。もちろん、洗うのが先か、浴槽につかるのが先かと言われれば、洗うのが先というのがマナーであろう。

浴槽は定員 8 人程度、湯温はやや熱めだ。湯は無色透明。石貼の立派な仕上げだ。

外に出ると露天風呂がある。こちらは岩風呂。定員は 6 人程度で、湯温は適温。目隠しから外を見ると、駐車場があり、その先には街が見える。よませは小高い場所にあるので、眺望は良い。

浴槽は石貼で立派と書いたが、取材班のクルーの一人によれば、客室の内装は意外に金をかけているということだった。特に木材は現在では考えられないような本物志向の贅沢品を使っている。

さて、大会の団体成績はというと、昨年と同じであった。今回は若いスノボ選手の参加があり、団体成績を向上させるチャンスであったが、上位チームの壁は厚い。しかし、いつもの調子が出ない選手がいても、絶好調になる選手もいて、バランスはとれている。次回大会はさらなる上位を狙いたい。

ホテル明幸はこのようなイベントの会場として最適だ。

DATA

名称	ホテル明幸
所在地	長野県下高井郡山ノ内町夜間瀬 7078
電話	0269-33-1171
営業時間	16：00～翌朝 9：00
定休日	なし
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
泉質	単純黄温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）
効能	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき 慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進
取材日	2024 年 3 月 1 日～2 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	よませ温泉スキー場